



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日
上場取引所 東 名

上場会社名 トヨタ紡織株式会社
 コード番号 3116 URL http://www.toyota-boshoku.com
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 克政
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岩森 俊一 TEL (0566)26-0313
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年11月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	692,995	10.8	27,741	90.7	30,000	58.6	17,701	102.6
27年3月期第2四半期	625,723	5.7	14,550	△10.1	18,919	△17.2	8,737	△24.0

（注）包括利益 28年3月期第2四半期 14,588百万円（56.0%） 27年3月期第2四半期 9,349百万円（△59.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	95.45	95.41
27年3月期第2四半期	47.15	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	739,417	271,923	30.7
27年3月期	719,680	264,038	30.0

（参考）自己資本 28年3月期第2四半期 227,028百万円 27年3月期 215,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,370,000	4.9	49,000	51.3	52,000	26.5	28,000	438.0	150.93

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	187,665,738株	27年3月期	187,665,738株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,088,057株	27年3月期	2,334,114株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	185,453,112株	27年3月期2Q	185,310,966株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期報告書は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は平成27年10月30日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の連結業績につきましては、売上高は、日本での車種構成の変化や為替影響などにより、前年同四半期連結累計期間（以下、前年同期）に比べ672億円（10.8%）増加の6,929億円となりました。利益につきましては、諸経費の増加などによる減益要因はありましたが、増収の影響や合理化などの増益要因により、営業利益は、前年同期に比べ131億円（90.7%）増加の277億円、経常利益は、前年同期に比べ110億円（58.6%）増加の300億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ89億円（102.6%）増加の177億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、生産台数は減少しましたが、車種構成の変化などにより、売上高は、前年同期に比べ234億円（7.1%）増加の3,537億円となりました。営業利益につきましては、車種構成変化の影響や合理化などにより、前年同期に比べ37億円（38.0%）増加の137億円となりました。

②北中南米

当地域におきましては、北米での車種構成の変化や為替影響などにより、売上高は、前年同期に比べ234億円（17.6%）増加の1,564億円となりました。営業利益につきましては、前年度に発生した製品立上げ影響の解消も含めた合理化や諸経費の減少などにより、前年同期に比べ39億円増加の9億円となりました。

③アジア・オセアニア

当地域におきましては、タイ等での減産はありましたが、為替影響などにより、売上高は、前年同期に比べ275億円（18.4%）増加の1,774億円となりました。営業利益につきましては、合理化や為替影響などにより、前年同期に比べ33億円（31.2%）増加の142億円となりました。

④欧州・アフリカ

当地域におきましては、生産台数の増加などにより、売上高は、前年同期に比べ4億円（0.9%）増加の481億円となりました。営業損失につきましては、増産影響や、前年度に子会社決算期変更による影響があったことなどにより、前年同期に比べ23億円減少の10億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、手元流動性の増加などにより、前連結会計年度末に比べ197億円増加の7,394億円となりました。

一方、負債は、前連結会計年度末に比べ118億円増加し、4,674億円となりました。主な要因は、短期借入金の増加などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ78億円増加し、2,719億円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、通期の予想を、売上高1兆3,700億円、営業利益490億円、経常利益520億円、親会社株主に帰属する当期純利益280億円と見込んでおり、2015年7月31日の公表値から変更しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正等に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、為替レートにつきましては、第3四半期以降1USD=115円、1EUR=130円、1THB=3.34円、1CNY=18.74円を前提としております。

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当会計基準等の適用による損益への影響はありません。

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び一部の連結子会社の税金費用については、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法により計算しておりましたが、第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度より連結納税制度を適用したことから、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当社及び一部の連結子会社において、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、この変更が与える影響を検討した結果、重要性はないと判断したため、遡及適用は行っておりません。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,140	92,532
受取手形及び売掛金	184,237	184,069
有価証券	55,294	85,938
商品及び製品	11,365	8,688
仕掛品	12,201	12,961
原材料及び貯蔵品	29,239	30,391
その他	43,561	46,324
貸倒引当金	△564	△708
流動資産合計	433,475	460,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,230	88,430
機械装置及び運搬具(純額)	87,810	85,991
その他(純額)	68,157	59,600
有形固定資産合計	241,197	234,023
無形固定資産		
のれん	556	454
その他	1,816	1,784
無形固定資産合計	2,372	2,239
投資その他の資産		
投資有価証券	16,114	15,522
その他	26,690	27,604
貸倒引当金	△171	△169
投資その他の資産合計	42,634	42,958
固定資産合計	286,204	279,221
資産合計	719,680	739,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	177,163	179,232
短期借入金	39,361	47,430
1年内返済予定の長期借入金	39,841	59,907
未払法人税等	9,706	8,408
製品保証引当金	2,030	2,031
役員賞与引当金	279	176
その他	67,342	63,584
流動負債合計	335,725	360,772
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	47,577	35,309
退職給付に係る負債	44,506	44,808
役員退職慰労引当金	464	300
資産除去債務	288	260
その他	7,079	6,043
固定負債合計	119,916	106,721
負債合計	455,642	467,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,096	9,253
利益剰余金	200,026	216,060
自己株式	△4,618	△4,131
株主資本合計	212,904	229,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,119	1,770
為替換算調整勘定	7,910	2,508
退職給付に係る調整累計額	△7,142	△6,833
その他の包括利益累計額合計	2,888	△2,554
新株予約権	332	95
非支配株主持分	47,912	44,799
純資産合計	264,038	271,923
負債純資産合計	719,680	739,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
売上高	625,723	692,995
売上原価	569,412	622,754
売上総利益	56,311	70,240
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	16,251	16,665
その他	25,508	25,833
販売費及び一般管理費合計	41,760	42,498
営業利益	14,550	27,741
営業外収益		
受取利息	809	609
持分法による投資利益	606	556
為替差益	1,940	1,427
その他	2,943	2,228
営業外収益合計	6,300	4,821
営業外費用		
支払利息	898	940
その他	1,031	1,622
営業外費用合計	1,930	2,562
経常利益	18,919	30,000
特別損失		
減損損失	825	627
特別損失合計	825	627
税金等調整前四半期純利益	18,094	29,372
法人税等	6,898	8,441
四半期純利益	11,195	20,931
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,458	3,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,737	17,701

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
四半期純利益	11,195	20,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	△349
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	△2,148	△6,164
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	△132
退職給付に係る調整額	186	304
その他の包括利益合計	△1,846	△6,342
四半期包括利益	9,349	14,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,851	12,258
非支配株主に係る四半期包括利益	1,498	2,330

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	307,130	130,941	141,820	45,830	625,723	—	625,723
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,158	2,054	8,093	1,918	35,224	△35,224	—
計	330,288	132,995	149,914	47,749	660,948	△35,224	625,723
セグメント利益又は損失(△)	9,939	△2,957	10,876	△3,396	14,462	88	14,550

(注) 1 セグメント利益の調整額88百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

欧州・アフリカセグメントにおいて、固定資産の減損損失825百万円を特別損失に計上してあります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	324,488	154,587	167,552	46,366	692,995	—	692,995
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,297	1,848	9,873	1,806	42,826	△42,826	—
計	353,786	156,435	177,426	48,173	735,821	△42,826	692,995
セグメント利益又は損失(△)	13,720	961	14,266	△1,036	27,911	△169	27,741

(注) 1 セグメント利益の調整額△169百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

欧州・アフリカセグメントにおいて、固定資産の減損損失627百万円を特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。